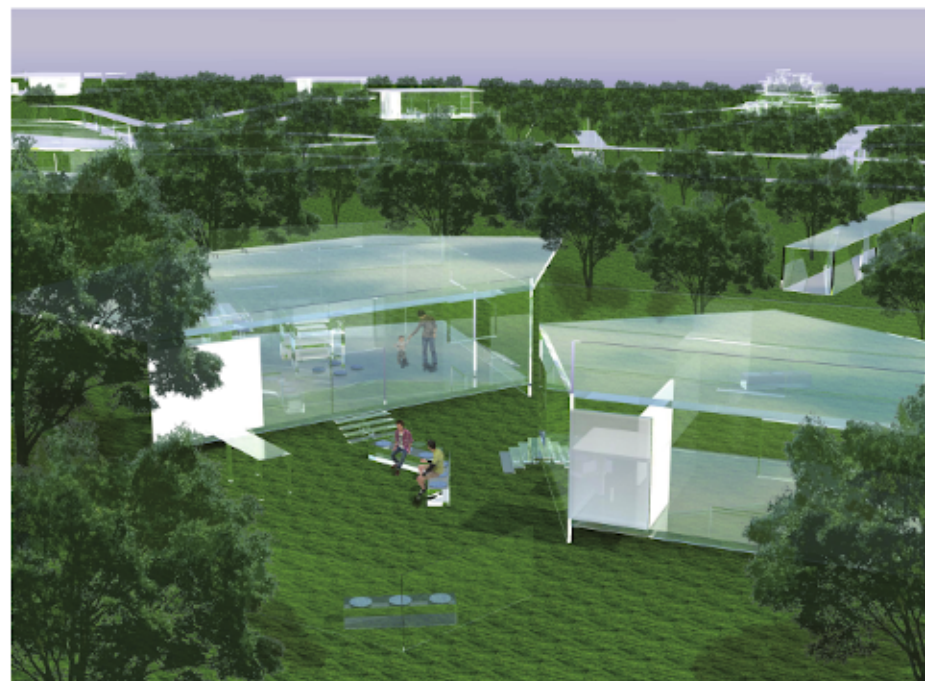


人と自然から成る未来

蒜山高原高原におけるガラス空間



建築物はもちろん家具までもなるべくガラスを用いて計画する。
ガラスの廊下や屋根に落ち葉や雪がその季節ごとに建物のデザイン
を変えそれが風や雨で0に戻り自然の時間の流れも体験できる

目的

有史以来、人間が生活をより良いものにするために乖離させてきた自然をもう一度見直し新たな自然と人間の関係をガラスと言う建材を用いてその魅力を引き出すとともに新たな自然の人間の在り方及び体験の場を提案する。

計画敷地

計画敷地は岡山県真庭市蒜山の一角に計画します。蒜山は気候が豊かで四季折々の表情が楽しむことが出来る地域です。

